



ないかく 内閣は、どんなしくみになっているの



内閣総理大臣と国務大臣が、集まって話し合うしくみのものだよ。

内閣は、内閣総理大臣と国務大臣が、集まって話し合うしくみのものです。内閣をつくっている人たちを、^{かくりょう}閣僚 といいます。

内閣総理大臣の仕事

内閣総理大臣は、内閣をまとめて率いる大臣で、内閣府の長でもあります。ふつうは略して、総理大臣または首相とよばれています。ほかの国務大臣より上の地位にあるので、国務大臣を任命したり、やめさせたりすることができます。また、いろいろな省・^{ちょう}庁などを^{しき}指揮したり、^{かんとく}監督したりすることもできます。さらに、省の大臣を^か兼ねることもできます。

国務大臣の仕事

国務大臣とは、内閣総理大臣以外の閣僚のことで省の大臣や庁の長官になって、行政の仕事を^{ぶんとん}分担します。国務大臣を任命したり、やめさせたりできるのは、内閣総理大臣です。国会議員以外の人を国務大臣に任命することもできますが、^{けんぽう}憲法で、閣僚の過半数は国会議員でなければならない、と定められています。

いろいろな閣議がある

内閣総理大臣が、国務大臣を集めて話し合いをすることを、閣議といえます。毎週、決まった日に開かれる定例閣議と、必要に応じて開かれる^{りんじかくぎ}臨時閣議があります。話し合いの内容を^{ひみつ}秘密にすることと、^{ぜんいんいち}全員一致で決めることが、ならわしになっています。集まっている時間がないときは、書類を回してすませることもあり、これを「持ち回り閣議」といいます。